



2012年3月期 第1四半期 決算説明会



新型 マツダ デミオ 13-SKYACTIV

マツダ株式会社
2011年7月29日

本日の説明内容

- 総括
- 2012年3月期 第1四半期実績
- まとめ





総括

総括

- 売上高は4,081億円、営業損失は231億円、当期純損失は255億円
- グローバル販売台数は、震災影響等により、対前年11%減の28万1千台
- SKYACTIV TECHNOLOGY 搭載車の第一弾として、新型デミオを国内市場に導入開始。計画を上回る受注を達成するなど、順調なスタート
- 2011年米国IQS*で5位にランクアップ
- オーストラリア、中国、タイ、メキシコ、インドネシア、マレーシアで過去最高の販売台数またはシェアを獲得するなど、新興国を中心に販売好調を継続
- 国内外の生産は、計画通り第1四半期後半より定常操業へ回復
- 通期営業利益200億円に向けて、第1四半期は予定通りの進捗。上期及び通期見通しに変更なし



2012年3月期 第1四半期実績

2012年3月期 財務指標

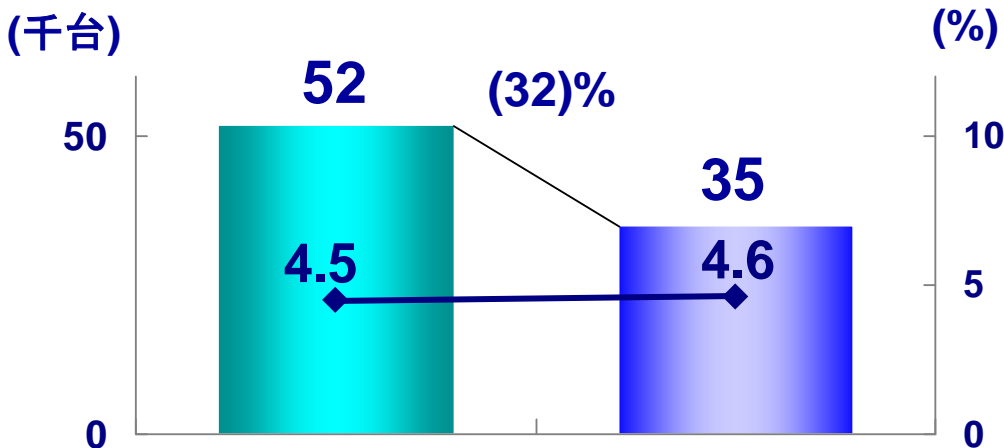
(億円)	第1四半期		増/(減)	
	2012年3月期	2011年3月期	金額	YOY (%)
売上高	4,081	5,780	(1,699)	(29)
営業利益	(231)	64	(295)	-
経常利益	(258)	41	(299)	-
税引前利益	(306)	8	(314)	-
当期純利益	(255)	(21)	(234)	-
売上高営業利益率	(5.7) %	1.1 %	(6.8) pts	-

主要データ

	第1四半期		増/(減)	
	2012年 3月期	2011年 3月期	台数	YOY(%)
グローバル販売台数 (千台)				
日本	35	52	(17)	(32)
北米	86	90	(4)	(4)
内 米国	58	60	(2)	(3)
欧州	44	54	(10)	(19)
中国	53	53	0	0
その他市場	63	68	(5)	(8)
合計	<u>281</u>	<u>317</u>	<u>(36)</u>	<u>(11)</u>
出荷台数 (千台)	186	268	(82)	(31)
国内生産台数 (千台)	178	221	(43)	(20)
為替レート				
US\$ / 円	82	92	(10)	
€ / 円	117	117	0	

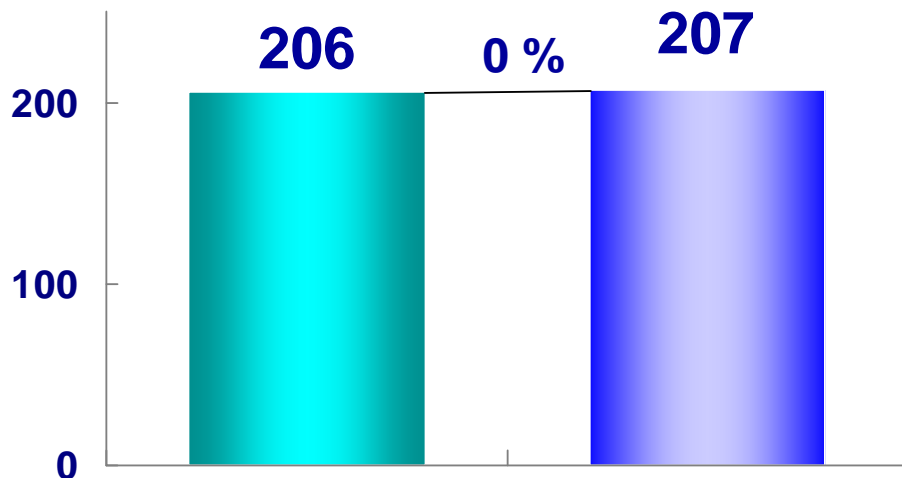
日本

第1四半期 販売台数・シェア



新型 マツダ デミオ 13-SKYACTIV

通期販売台数



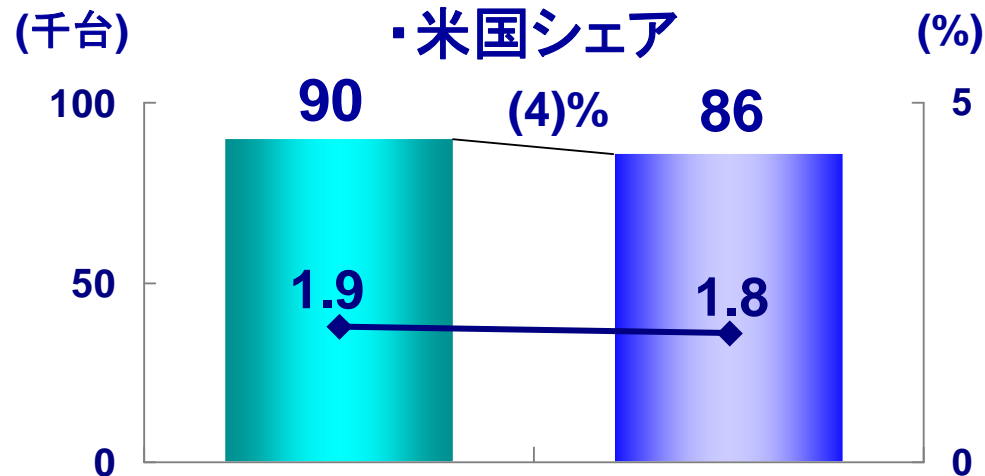
2011年3月期

2012年3月期

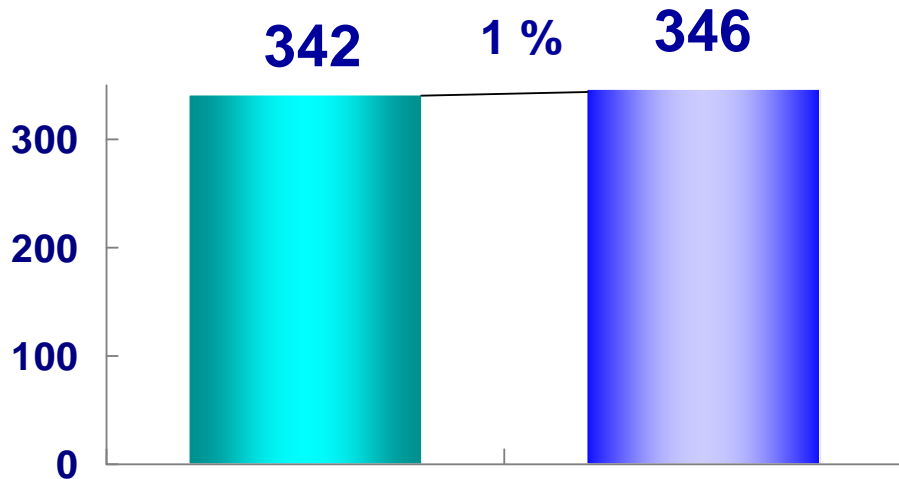
- ▶ 第1四半期の販売台数は3万5千台。シェアは0.1ポイントアップの4.6%を獲得
- ▶ 新型デミオは、計画を上回る受注を達成するなど、順調なスタート
- ▶ SKYACTIV-G搭載車の販売比率は計画を上回り、高評価を獲得
- ▶ 通期見通しは前年並みの20万7千台

北米

第1四半期 販売台数 ・米国シェア



通期販売台数



2011年3月期

2012年3月期

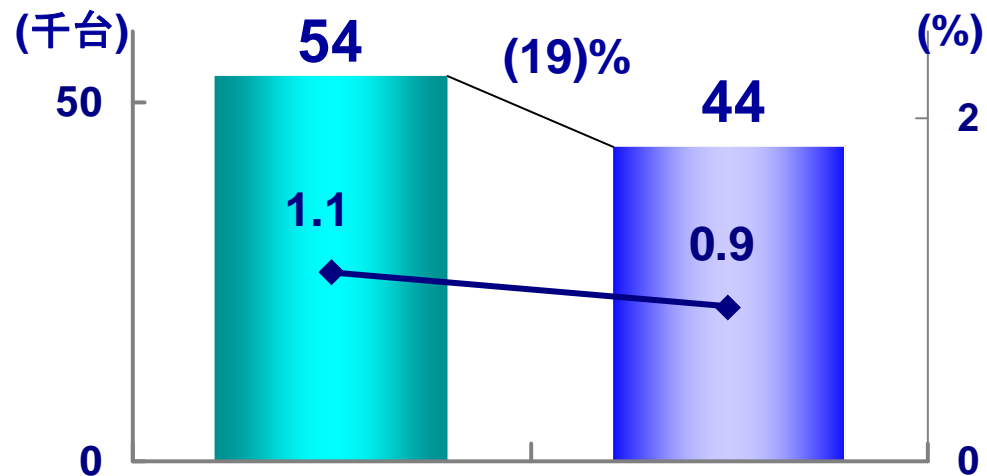


Mazda3

- 第1四半期の販売台数は8万6千台
- 米国でのMazda3、CX-9の残存価値はセグメントトップを維持
- 2011年米国IQS*で5位にランクアップ
- メキシコでは好調な販売を継続し、過去最高となる販売台数と、過去最高のシェア3.2%を獲得
- 通期見通しは1%増の34万6千台

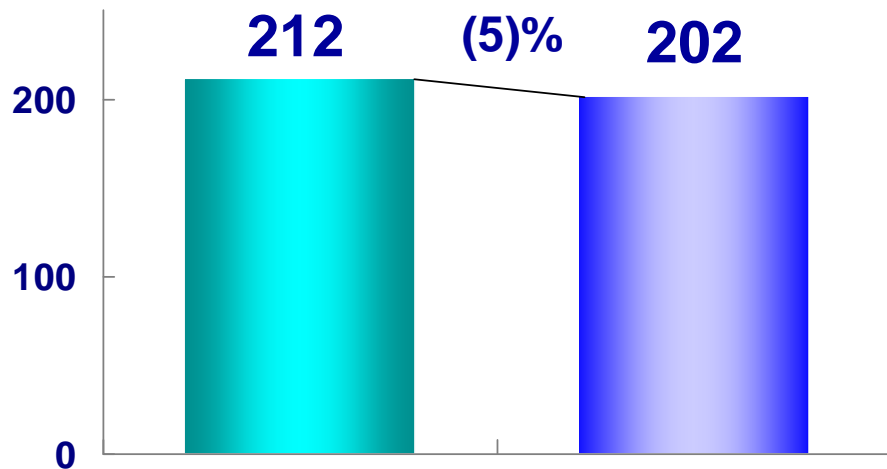
欧州

第1四半期 販売台数・シェア



Mazda5

通期販売台数



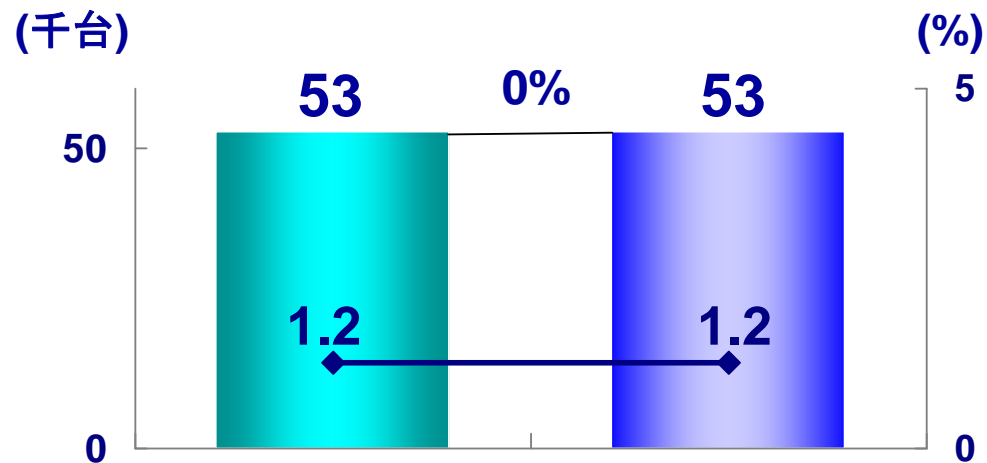
2011年3月期

2012年3月期

- ▶ 第1四半期の販売台数は4万4千台
- ▶ ロシアでは好調な需要と強いブランド力により、前年の2倍となる販売台数と、0.4ポイントアップの1.2%のシェアを獲得
- ▶ 通期見通しは20万2千台

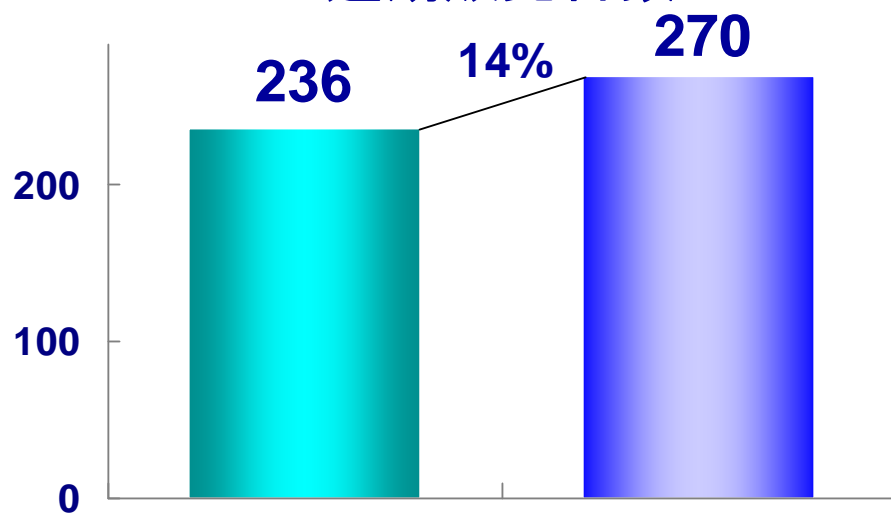
中国

第1四半期 販売台数・シェア



Mazda6

通期販売台数



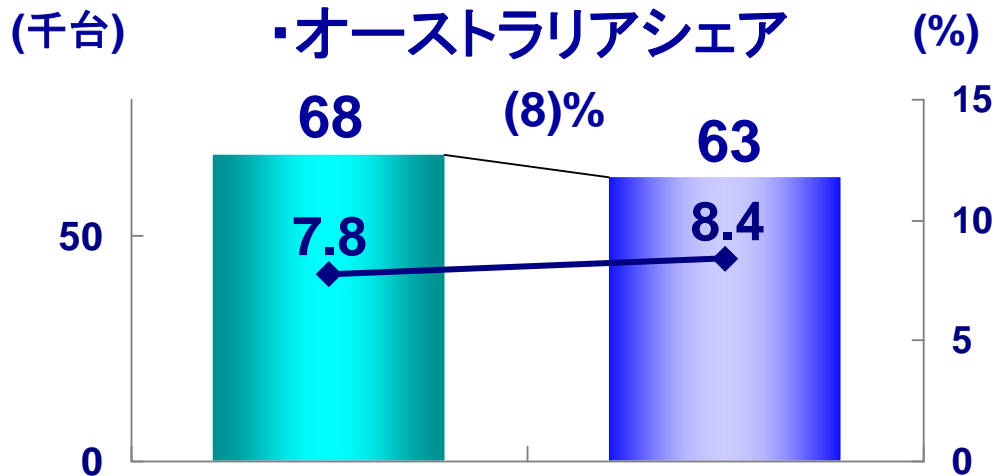
2011年3月期

2012年3月期

- 販売台数は、過去最高となる5万3千台を達成
- シェアは前年と同レベルの1.2%を維持
- 店舗数は323店舗と、販売網の整備は着実に前進
- 通期見通しは14%増の27万台

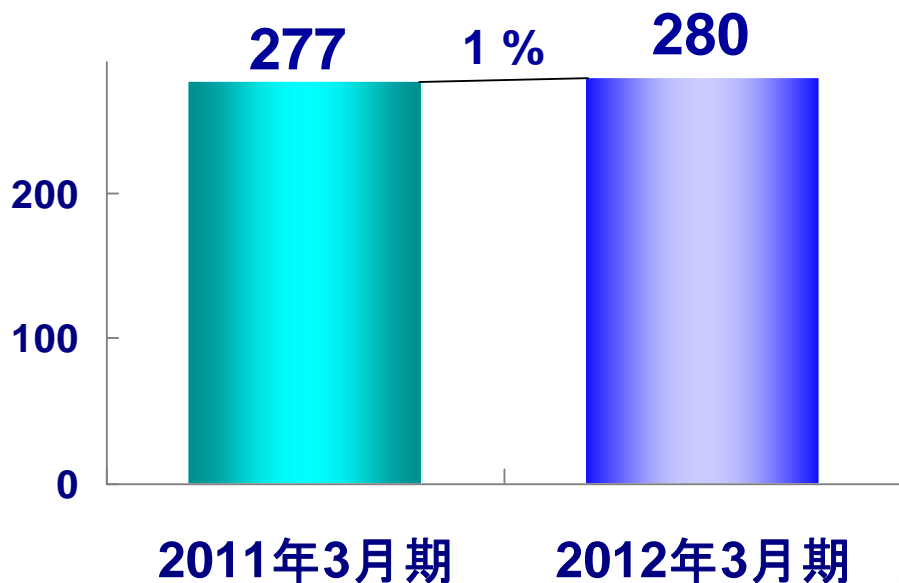
その他市場

第1四半期 販売台数 ・オーストラリアシェア



Mazda2 AAT生産車両

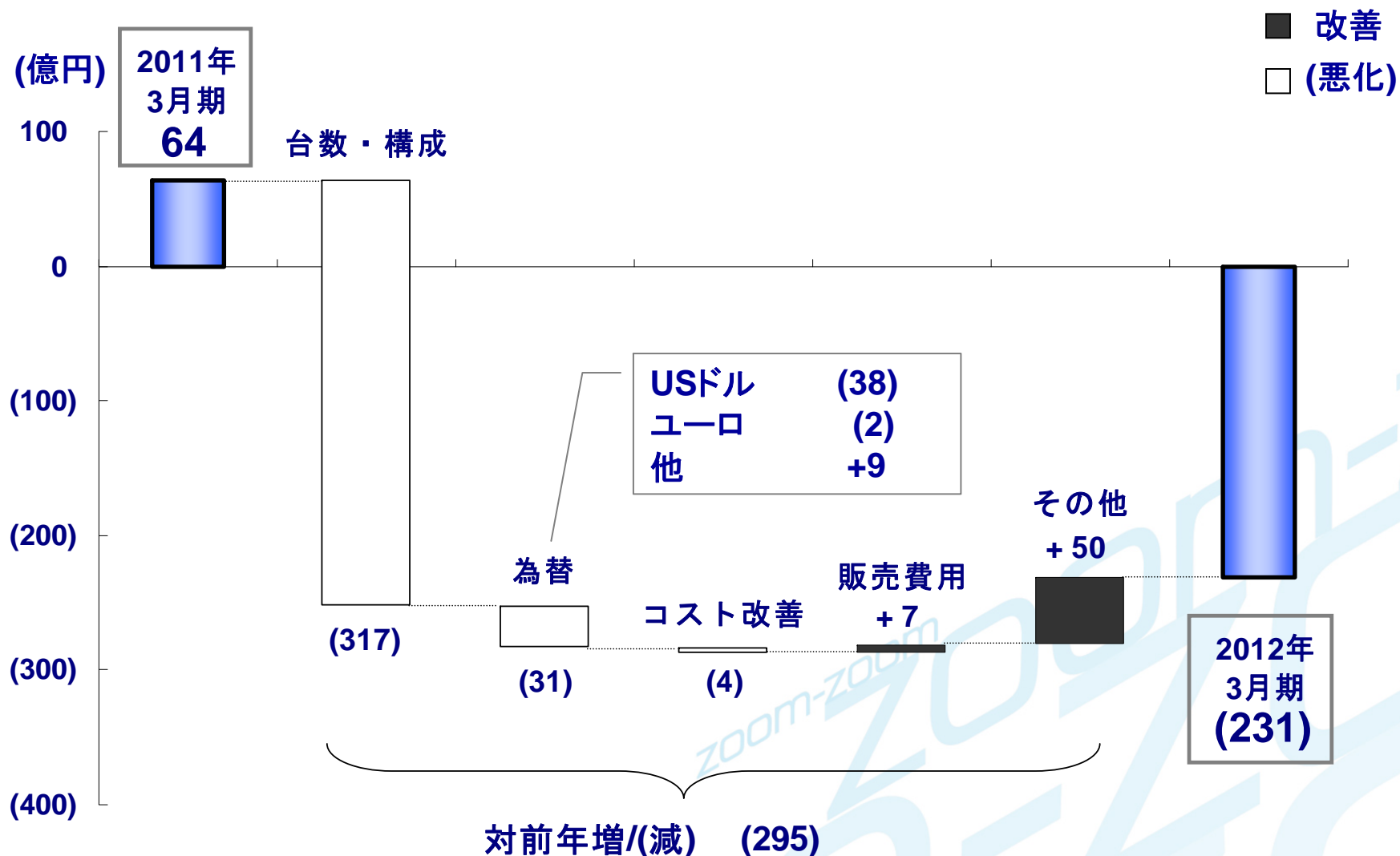
通期販売台数



- その他市場全体で6万3千台の販売
- オーストラリアでは前年より0.6ポイントアップし、過去最高となる8.4%のシェアを獲得
- タイでは過去最高の販売台数を達成。また、インドネシア、マレーシアでは過去最高の販売台数及びシェアを獲得するなど、アセアンでも好調な販売を継続
- 通期見通しは1%増の28万台

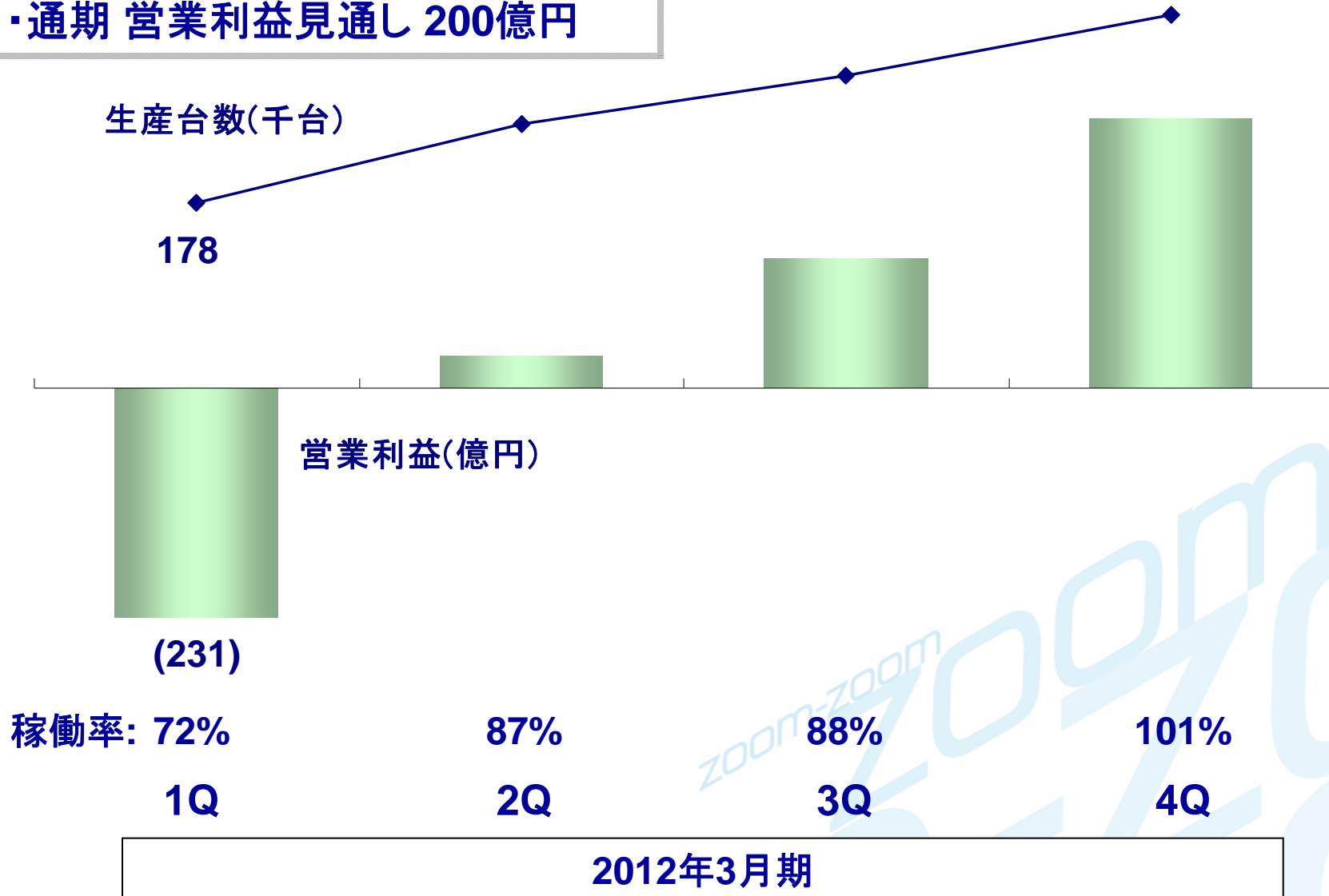
営業利益変動

2012年3月期 第1四半期 対前年比較



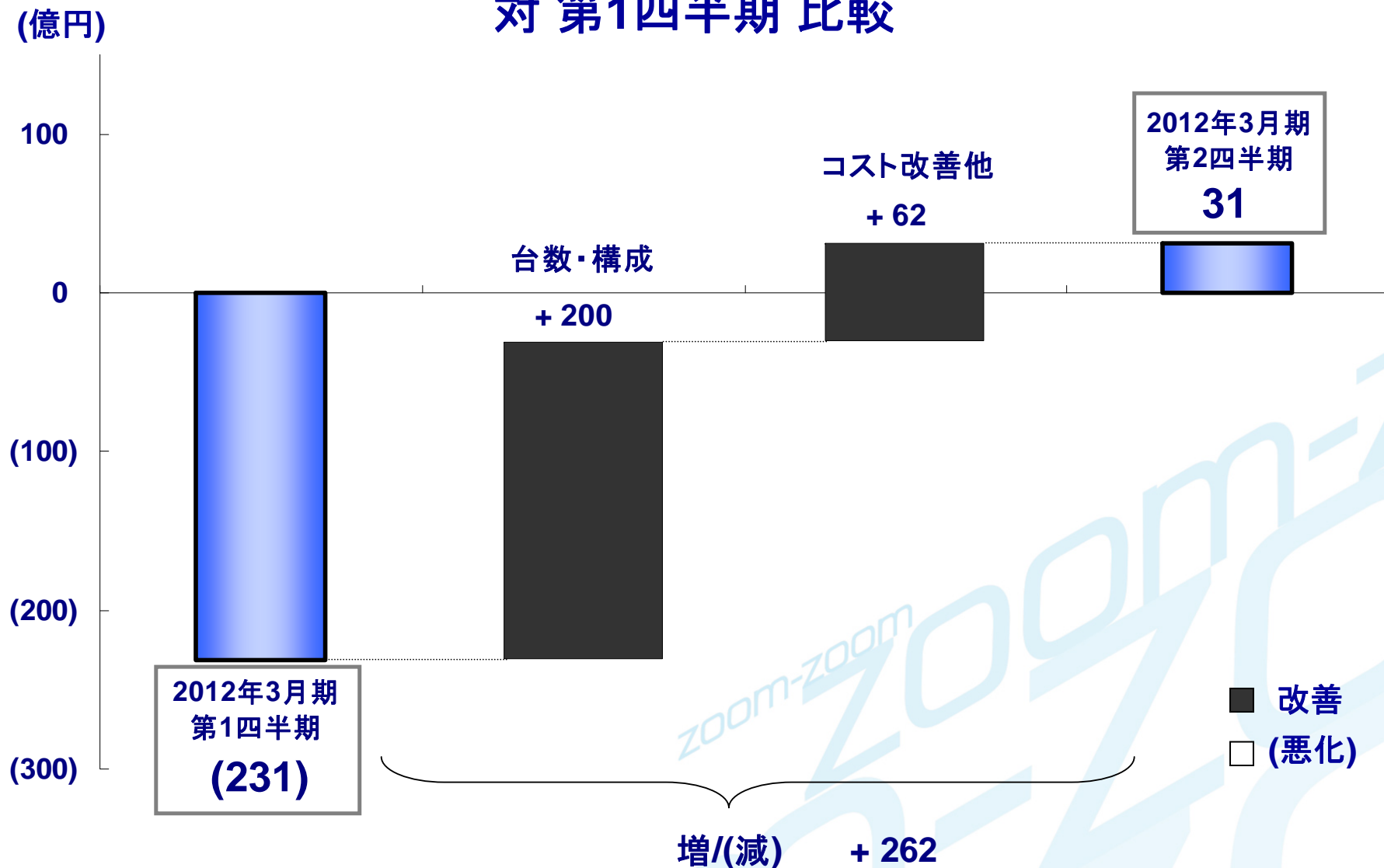
営業利益、国内生産台数トレンド

- ・通期 国内生産台数見通し 90万台
- ・通期 営業利益見通し 200億円



営業利益変動

2012年3月期 第2四半期 対 第1四半期 比較



まとめ (1)

- ▶ 震災影響等もあり、売上高は4,081億円、営業損失は231億円、当期純損失は255億円
- ▶ 第2四半期以降、黒字化見通し。通期営業利益200億円に向けて第1四半期は予定通りの進捗
- ▶ SKYACTIV TECHNOLOGY 搭載車の第一弾としてSKYACTIV-G搭載の新型デミオを、国内市場に導入開始。計画を上回る受注を達成するなど順調なスタート
- ▶ オーストラリア、中国、タイ、メキシコ、インドネシア、マレーシアで過去最高の販売台数またはシェアを獲得するなど、新興国を中心に販売好調を継続

ZOOM-ZOOM

まとめ (2)

- ▶ 国内向け新型デミオ投入を皮切りに、新世代技術SKYACTIV 搭載モデル導入は予定通り
 - 2012年3月期後半、主要市場にSKYACTIV-G、SKYACTIV-Drive搭載の新型Mazda3を導入
 - 2012年、グローバルにSKYACTIV技術を全面的に採用した新型CX-5を導入
- ▶ 新興国での成長戦略推進及び 現地生産の拡大
 - 中南米
2013年3月期のブラジルでの販売開始及び 2014年3月期のメキシコでの生産開始を決定
 - アセアン
AATを主軸にした域内現地生産及び 域内輸出の加速。
インドネシア、マレーシア、ベトナムでの販売拡大
 - 中国
40万台販売体制に向けて生産能力を拡大



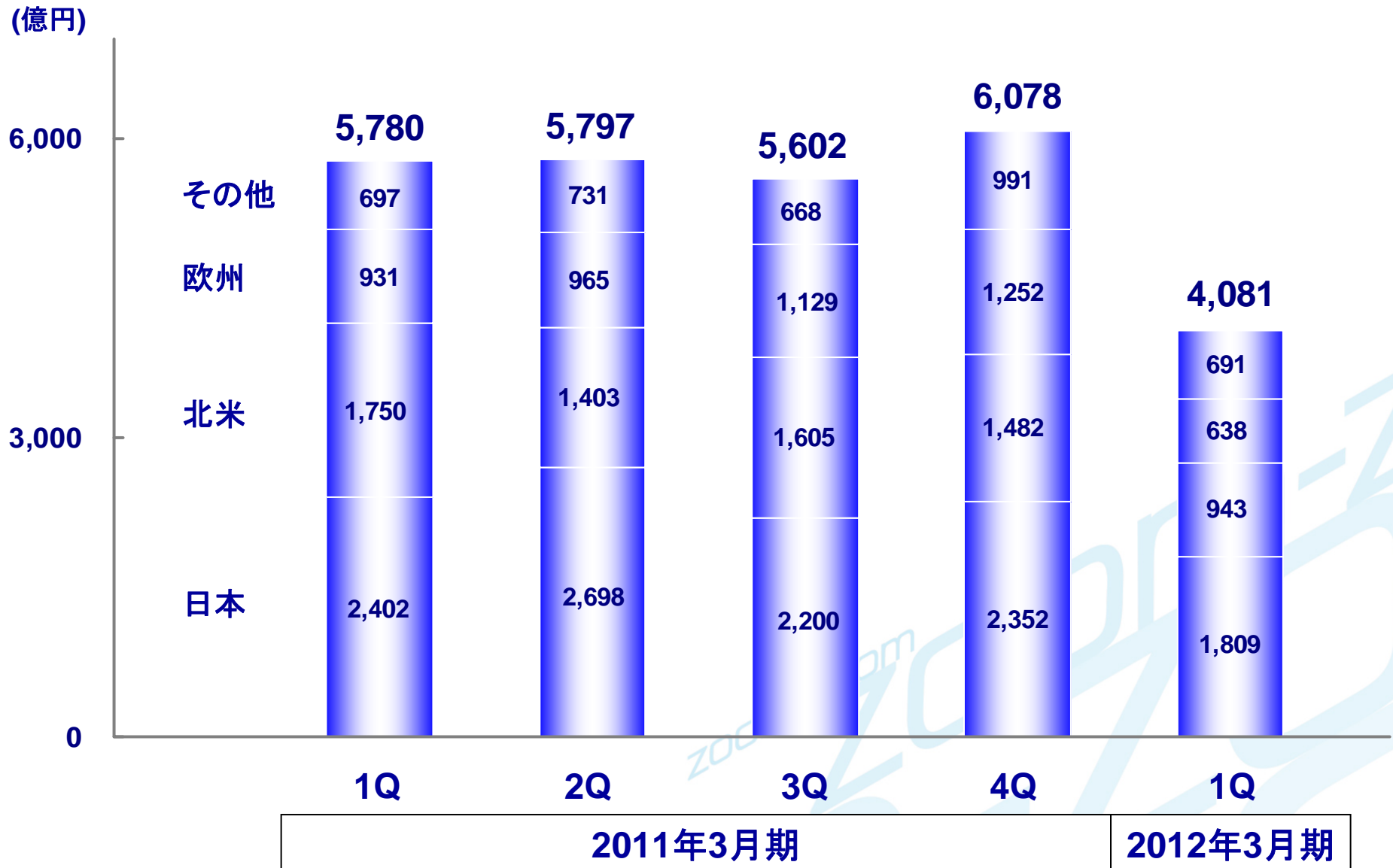
mazda

zoom-zoom
zoom-zoom-z

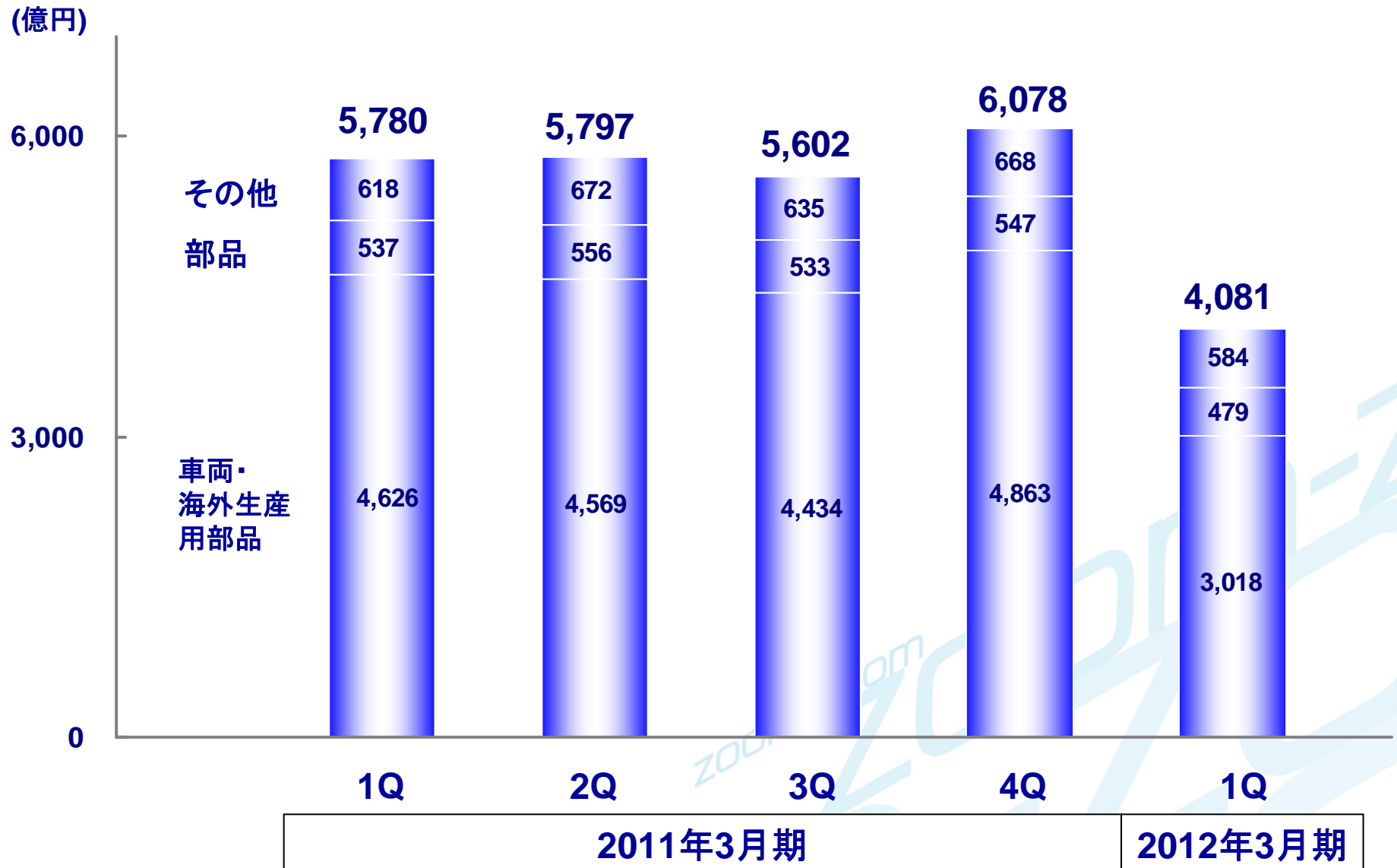


添付

売上高 所在地別



売上高 製品別



売上高変動内訳

2012年3月期 第1四半期 対前年比較

(億円)

2012年3月期 4,081
2011年3月期 5,780

国内 (4)%
海外 (24)%

0%

合計

(29)%

台数構成

(28)%

(1)%
為替

(30)%

主要データ

	第1四半期		増/(減)	
	2012年 3月期	2011年 3月期	台数	YOY (%)
出荷台数 (千台)				
日本	43	54	(11)	(20)
北米	59	94	(35)	(38)
欧州	27	44	(17)	(39)
中国	3	6	(3)	(55)
その他市場	54	70	(16)	(22)
合計	<u>186</u>	<u>268</u>	<u>(82)</u>	<u>(31)</u>

主要データ

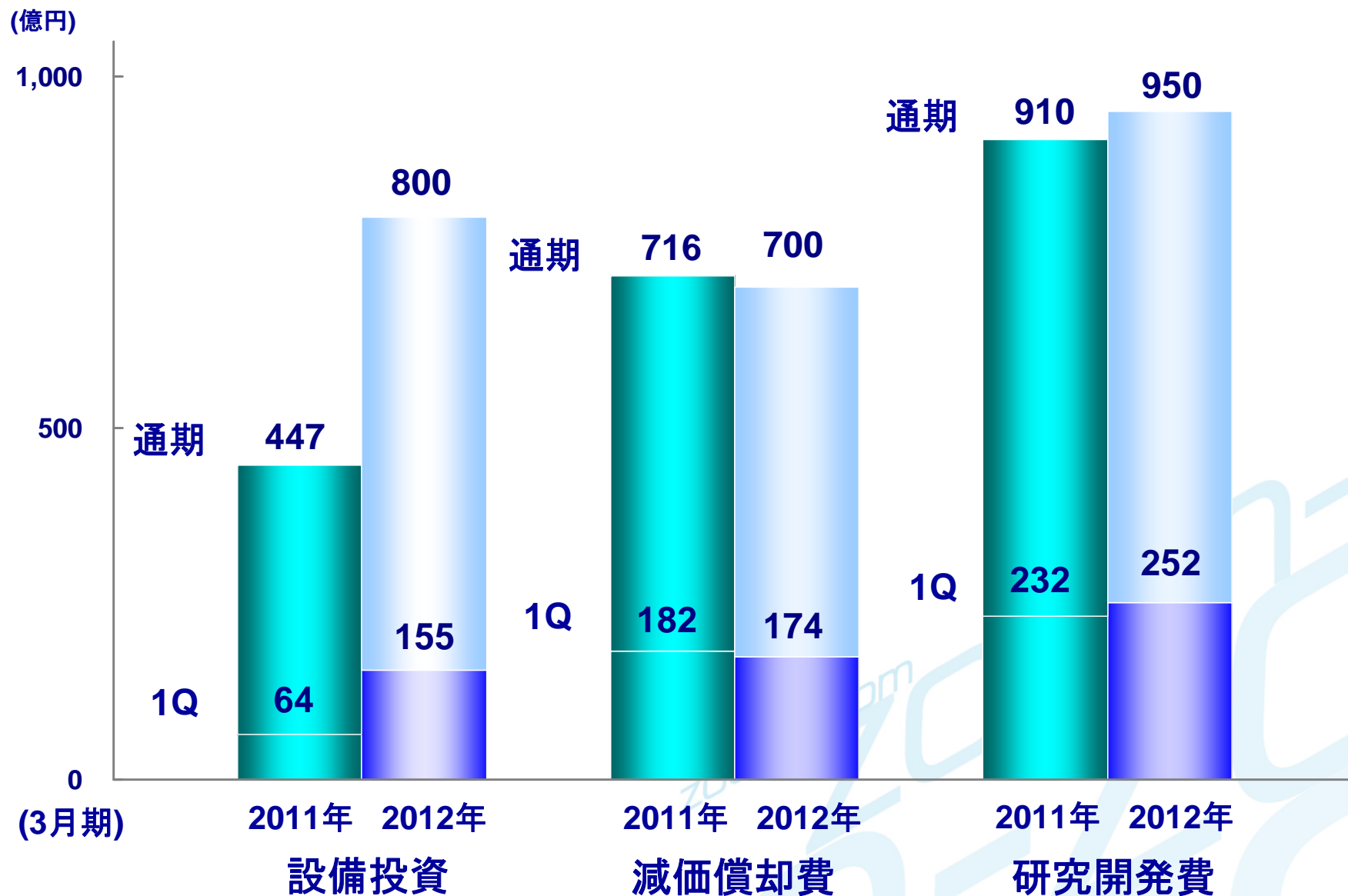
	通期		増/(減)	
	2012年 3月期	2011年 3月期	台数	YOY(%)
グローバル販売台数 (千台)				
日本	207	206	1	0
北米	346	342	4	1
内 米国	240	238	2	1
欧州	202	212	(10)	(5)
中国	270	236	34	14
その他市場	280	277	3	1
合計	1,305	1,273	32	3
為替レート				
US\$ / 円	83	86	(3)	
€ / 円	113	113	0	

2012年3月期 財務指標

(億円)	2012年3月期			2011年 3月期	通期 増/(減)
	上期	下期	通期	通期	
売上高	9,600	12,300	21,900	23,257	(1,357)
営業利益	(200)	400	200	238	(38)
経常利益	(250)	400	150	369	(219)
税引前利益	(300)	400	100	161	(61)
当期純利益	(350)	360	10	(600)	610
売上高営業利益率	(2.1) %	3.3 %	0.9 %	1.0 %	(0.1) pts
(千台)					
出荷台数	450	595	1,045	1,100 *	(55)

* 2011年3月期の出荷台数は、決算期を変更した海外子会社の15ヶ月決算の影響分 1万6千台を含む

主要データ



将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。